



かがやき

令和7年10月7日
守口市立寺方南小学校
学校だより第6号
校長 棹本 達也

がっこうきょういくもくひょう みずか まな こころゆた
学校教育目標 「自ら学び 心豊かに たくましく」

ひとりひとり かがや がっこう
～ 一人一人が いきいきと 輝く学校 ～

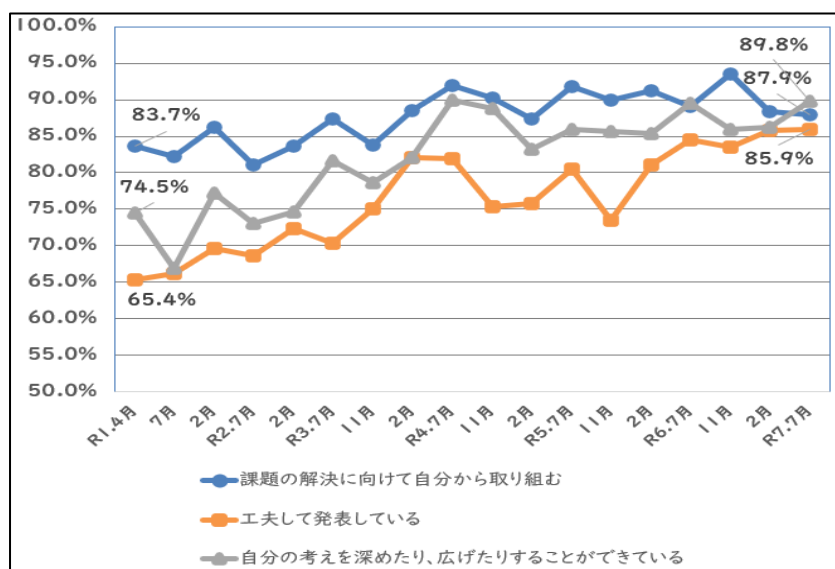
そら たか す わた きせつ
空が高く澄み渡り、さわやかな季節となりました。

こどもたちは日々、学習に一生懸命取り組んでいます。ご家庭でも学んだことを聞いていただき、励ましの声かけをお願いいたします。

さて、4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」（6年生）及び「大阪府すくすくウォッチ」（5・6年生）の結果分析において、子どもたちの学力が着実に定着していること、またアンケート調査の結果からも、本校の子どもたちの良いところが多く確認できましたので紹介いたします。統合後、寺方小学校と南小学校で取り組んできた良い所を一つの取組みとして活かし、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの育成に努めてきました。その成果の一部が、今回の調査結果にも表れてきております。調査結果の概要から、子どもたちの頑張りをご覧いただき、ご家庭・地域での声掛けの参考としていただければ幸いです。今後とも、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

☆ その1 「学習意欲」が高まってきています ☆

『授業での学習状況に関するアンケート調査』



「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」のアンケート項目では、平成31年度4月に肯定的回答をしていた児童が83.7%でしたが令和7年度7月87.9%に向上しています。

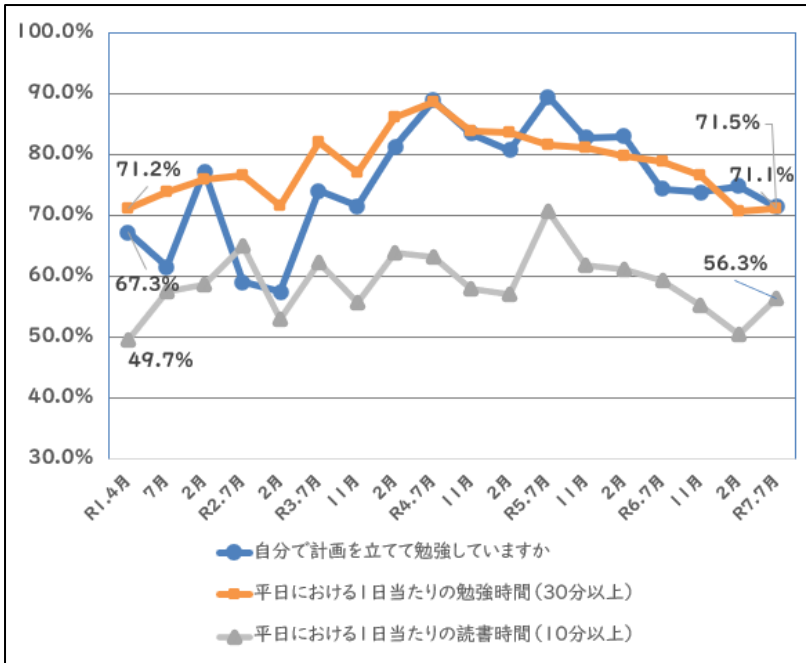
「話の組立てなどを工夫して発表していましたか。」のアンケート項目では、65.4%から85.9%に向上。

「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。」のアンケート項目では、74.5%から89.8%に向上。

守口市では、平成31年度（令和元年度）より年間3回、4～6年生の児童に対してアンケート調査を実施しています。調査項目は全国学力・学習状況調査「アンケート」児童質問紙の中から、授業での学習状況に関する3項目と家庭での学習状況に関する3項目を選んでいきます。（※令和2年度は年間2回実施）

上のグラフと次のページのグラフは、本校の子どもたちのアンケート調査の肯定的回答を折れ線グラフで表したものです。統合後、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちを育成してきた成果の一部がアンケート調査の結果にも着実に表れています。

『家庭での学習状況に関するアンケート調査』



「自分で計画を立てて勉強していますか。」のアンケート項目では、平成31年度4月に肯定的回答をしていた児童が67.3%でしたが、令和7年度7月は71.5%でした。

「学校の授業以外での平日における勉強時間はどれくらいですか。」のアンケート項目では、30分以上と回答した児童が71.2%に対して71.1%でした。

「学校の授業以外での平日における読書時間はどれくらいですか。」のアンケート項目では、10分以上と回答した児童が49.7%に対して56.3%でした。

▼家庭での学習状況に関するアンケート結果は、3項目ともに低下の傾向が見られます。

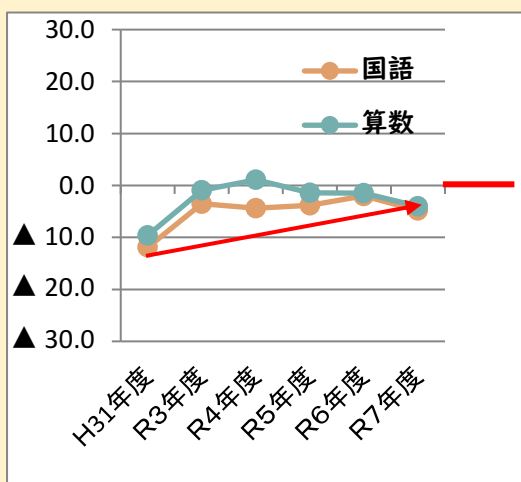
☆ その2 学力が着実に定着してきています ☆

『令和7年度全国学力・学習状況調査（教科に関する結果）』

実施日 令和7年4月17日（木）

平均正答数（問）		本校	大阪府	全国
6年生	国語（14問中）	8.6	9.2	9.4
	算数（16問中）	8.6	9.2	9.3
	理科（17問中）	8.7	9.3	9.7

全国や大阪府の平均との差は1問以内です。



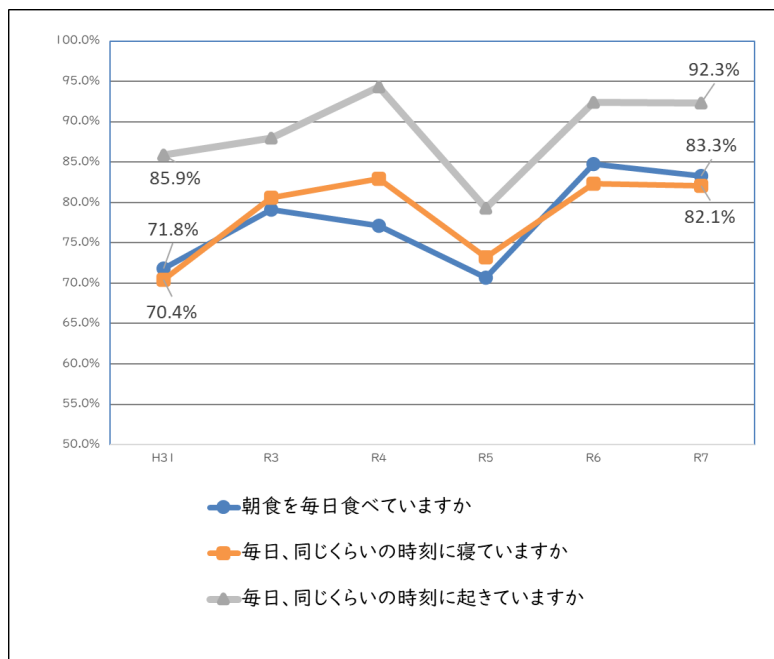
このグラフは、全国平均を基準として本校の学力状況（国語・算数）を表したものです。（令和2年度は全国学力・学習状況調査未実施）統合後、本校の子どもたちの学力は着実に定着し、同水準を推移しています。

※ 本調査により測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面です。

- 調査の目的
 - ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
 - ・学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
 - ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 調査の対象
 - ・小学校及び義務教育学校前期課程 第6学年
- 調査の内容
 - ・教科に関する調査（国語、算数、理科）、生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒に対する調査 / 学校に対する調査）

☆ その3「規則正しい生活習慣」が身に付いてきています ☆

『家庭での生活状況に関するアンケート調査』



「朝食を毎日食べていますか。」のアンケート項目では、平成31年度に強い肯定的回答をしていた児童が71.8%でしたが令和7年度 **84.8%に向上**しています。

「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。」のアンケート項目では、肯定的回答が70.4%から **82.3%に向上**。

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。」のアンケート項目では、肯定的回答が85.9%から **92.4%に向上**。

3項目ともに改善が見られます。特に「朝食」にかかるアンケートでは、昨年度初めて80%を超え、今年度も同様の結果でした。

☆ 強みの見られたところ ☆

令和7年度全国学力・学習状況調査（児童アンケート質問紙 調査結果）6年生

児童アンケートにおいて、肯定的回答の割合が高く、全国を基準として

強みの見られた質問

- 「友達関係に満足していますか」（本校 **97.5%**、全国91.7%）
- 「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」（本校 **80.8%**、全国70.6%）
- 「先生は、あなたの良いところを認めてくれている」（本校 **96.1%**、全国92.2%）
- 「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していない所について、分かるまで教えてくれる」（本校 **94.8%**、全国88.0%）
- 「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」（本校 **87.2%**、全国81.3%）
- 「道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか」（本校 **93.6%**、全国87.9%）

課題の見られた質問

- 「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらい学習していますか」【全くしないと回答した割合】（本校 **30.8%**、全国17.5%）

本校の子どもたちの良いところがたくさん見られますが、**すべての子どもたちのアンケート結果が肯定的な回答となるよう、今後も一人ひとりの良いところを認め励ます指導を大切にしていきたいです。**

☆ その2② 学力が着実に定着してきています ☆

『令和7年度小学生すくすくウォッチ（教科に関する結果）』 実施日 令和7年4月17日（木）

平均正答数（問）		本校	守口市	大阪府
5年生	国語（17問中）	11.7	11.2	11.8
	算数（6問中）	4.0	3.9	4.1
	理科（12問中）	6.6	6.4	7.2
5.6年生	わくわく問題（9問中）	6.3	6.1	6.4

各教科・わくわく問題ともに大阪府の平均との差は0.6問以内です。

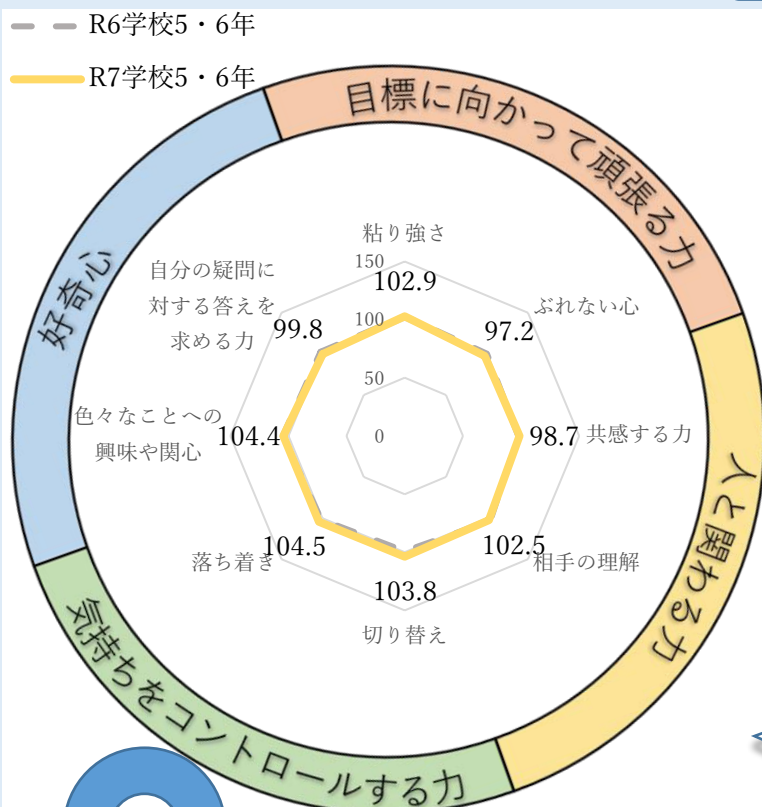
☆ その4「未来に向かう力」と「好奇心」がバランスよく身に付いています ☆

『令和7年度小学生すくすくウォッチ（5.6年生児童アンケートに関する結果）』

「未来に向かう力」と「好奇心」について

子どもの将来には、テスト等で測ることのできる「学力」の他に、非認知能力が大きく関わっています。大阪府では、これからの予測困難な社会を生き抜くために必要な、「①目標に向かって頑張る力」「②気持ちをコントロールする力」「③人と関わる力」の3つを「未来に向かう力」と定義しています。また、新たな知識や経験を探求する原動力となる「好奇心」も大事であると考え、アンケートにより状況を把握しています。本校の子どもたちは、アンケート全体を通して、「未来に向かう力」と「好奇心」がバランスよく育まれていることがわかります。

児童アンケートにおいて、大阪府を基準として



強みの見られた質問

- 「話し合う場面で自分の考えを深めたり、広げたりしている」（5年）
- 「課題や問題に取り組んでいる途中で、うまくいかなかったときは、やり方を変えている」（6年）
- 「その時間に学んだことについて、ふり返りをしている」（5・6年）

課題の見られた質問

- 「自分でやりたい学習内容を考えて、家で勉強している」（5・6年）
- 「はっきりした明快な答えが出るまで、ずっと考える」（5・6年）

3つの「未来に向かう力」と「好奇心」を尋ねる項目の標準化得点※を算出し、掲載しています。（数値は令和7年度の結果を表示）令和6年度とほぼ同じ状況です。

※ 標準化得点：大阪府全体の結果から、平均と標準偏差を用いて変換した得点。大阪府平均を100として表しています。

☆ その5 気持ちをコントロールする力が高まっています ☆

『令和7年度小学生すくすくウォッチ（児童アンケートに関する結果）5.6年生』

児童アンケートにおいて、肯定的回答の割合が高い質問

- 「友だちと協力するのは楽しい」
- 「話し合いをするとき、友だちの意見を最後まで聞いている。」
- 「あなたは、困ったときに相談できる友だちがいる」
- 「先生は、あなたが間違っことをしたとき叱ってくれる」
- 「自分は何が得意で何が苦手かわかっている」
- 「黒板に書かれたことをノート等に写している」
- ☆「その時間のめあてを意識して学習している」
- ☆「家の人に褒められることがある」

上から6つの○は、昨年度に引き続き肯定的回答が高い質問でした。「友だち」に関する質問項目や「家の人に褒められることがある」の質問の結果が高いことが、「気持ちをコントロールする力」が高まっていることにつながっていると考えます。

1. 調査の目的 ・子どもたち一人ひとりが自らの強みを知り、学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの社会を生き抜く力を着実につける。
2. 調査の対象 ・小学校及び義務教育学校前期課程 第5.6学年
3. 調査の内容 ・5年生：国語、算数、理科、わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
・6年生：わくわく問題（教科横断型問題）、アンケート
4. 児童への資料提供「ウォッチシート（個人票）」の記載内容
 - ・アンケート結果からわかる児童一人ひとりのよいところ
 - ・各教科とわくわく問題の解答状況から見られる、児童一人ひとりのよいところ
 - ・各教科とわくわく問題のすべての問題について、児童一人ひとりの正答状況とそれに合わせたアドバイス

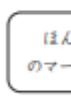
③ 学校が休みの日、みさきさんとあきどさんは、スーパーでお菓子を買いに行きました。

(1) 会計のためにレジに並んでいたみさきさんは、ふと、床に矢印のマークが一定の間かくでかかっていることに気がつきました。よく見ると、後ろに並んでいるあきどさんも、みさきさんの前で会計をしている人も、みんな矢印のマークの上に立っています。

【矢印のマーク】



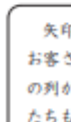
ねえ、気づいてる？ わたしもあきどさんも矢印のマークの上に立っているね。



ほんとだ。だれかに言われたわけではないのに、矢印のマークの上に立っていたよ。



みんなが矢印のマークの上に立つことで、何かいいことがあるのかな。お店の人に聞いてみよう。



矢印のマークがあることで、どこに並べばいいか、お客さんがわかりやすくなります。また、会計を待つ人の列が整い、スムーズに会計をすることができ、わたしたちも助かります。

☆設問例☆

家族の皆さんで「わくわく問題」に
チャレンジしてみてください！！



そうだったのか！ お客さんにもお店の人にもいいことがあるんだね。



床に矢印のマークがあると、お店の人やお客さんにとって、どのようなよいことがありますか。会話からわかることを、下のアからエまでの中から2つ選びましょう。

ア レジの前がこんごつしないので、お客さんが知り合いの人を自分の列の前に入れてあげられる。

イ 会計を待つお客さんの列が自然と整うので、お店の人が呼びかけなくすむ。

ウ スムーズに会計をすることができるので、お客さんがたくさん品物を買ってくれる。

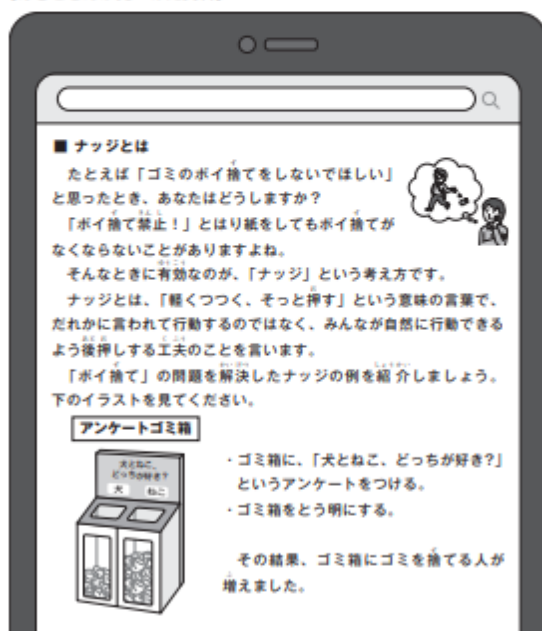
エ 矢印のマークがあることで、お客さんにとって並ぶ場所がわかりやすくなる。

- (2) 次の日、学校であきさんとみさきさんは、昨日見た矢印のマークについて話しています。

家に帰ってから、床の矢印のマークについて調べてみたんだけど、こういう工夫をナッジって言うんだって。ナッジについて、こんな資料を見つけたよ！



【あきさんが見つけた資料】



わくわく問題-17



ゴミ箱を少し工夫するだけで、ゴミのポイ捨てが減るなんてすごいわね。でも、どうしてこれでうまくいくのかな。

① から、だれかに言われなくても、みんながこのゴミ箱にゴミを捨てるんだと思う。それにゴミ箱をどう明にすることで、② がわかるから、興味をひかれるし、楽しくなるよね。



問 あきさんの発言の中の①と②に入る言葉として最もふさわしいものを、①はアからウ、②はエからカまでの中から、それぞれ1つずつ選びましょう。

- ① ア アンケートのおかげでゴミの分別が簡単にできる
イ 「ポイ捨て禁止」であることがはっきりと伝わる
ウ 自分もアンケートに答えてみようと思う
- ② エ ゴミの分別のしかた
オ どちらの意見が多いか
カ いっぴきゴミが捨てられたか

わくわく問題-18

- (3) みさきさんたちは、ナッジの考え方を生かした工夫が身の回りにもないか、探してみることにしました。次の【身の回りの工夫】は、みさきさんたちが、見つけた工夫をクラスのみんなに紹介するためにタブレット端末を使ってまとめたものです。

【身の回りの工夫】

- 【ねがい】 トイレをきれいに使ってほしい
【工夫】 次のようなメッセージをトイレの見やすいところにはる。



- 【みんなの行動が変わる理由】
「ありがとう」という感謝のメッセージにこたえられるように、よごさずきれいに使おうという気持ちになるから。

- 【ねがい】 使わないときは電気をこまめに消してほしい
【工夫】 電気を消すとニコニコの笑顔が現れるように、スイッチに顔のシールをはる。



- 【みんなの行動が変わる理由】
スイッチをオフにすると笑顔が見られて、楽しくなるから。

わくわく問題-19



わたしたちの身の回りでも、みんなが気持ちよく過ごすために、こういう工夫が生かせそうだな。アイデアを考えて、みんなに提案してみようかな。

それは、いい考えだね！ ろうかを走らずに歩いてもらう工夫や、スリッパをそろえてもらう工夫など、みんなに提案できることはたくさんありそうだね。



問 「みんなが気持ちよく過ごすために」、あなたならナッジの考え方を生かしたどんな工夫を提案しますか。次の【条件】に合わせてかきましょう。これまでに紹介された例を参考にしてもかまいません。

- 【条件】○【ねがい】のらんに、みんなが気持ちよく過ごすために、みんなにしてほしいことを1つ書きましょう。
○【工夫】のらんに、【ねがい】をかなえるために、どうするのかを言葉や絵を使ってかきましょう。
○【みんなの行動が変わる理由】のらんに、なぜその【工夫】でみんなの行動が変わるのかを文章で書きましょう。

わくわく問題-20

☆以下は昨年度に作成した「今後の取組み」です。次号で今年度分を掲載します☆

子どもたち一人一人が、確かな学力とこれからの予測困難な社会を生き抜くために必要な力を身に付けていけるよう、今後も教科等の学習と友達関係づくり等を授業の中で一体的に進めていきます。

◎ めざす子ども像の実現に向けて、一貫した指導を進めます。

- ・ 自他の良いところを見つけ、自分のことも相手のことも大切にできるよう指導します。
- ・ ちがいを認め合い、相手のことを思いやり行動できるよう指導します。
- ・ 自学自律できるよう指導します。授業では「めあて」に対する「ふり返し」(学年数の行数以上)を書き、学んだことのより一層の定着をめざします。また、授業開始・終了の時間や挨拶を大切にしたり、ペアでの話し合いを大切にしたりする等、学習規律を身に付けます。今年度より、家庭学習については、より一層主体的に取り組めるよう「宿題」という言い方ではなく「家庭学習課題」とし、加えて高学年は課題の量を自分で選択できるようにしています。このように子ども自身が選択・決定する機会を増やしていきます。

☆ ご家庭でもご協力をお願いいたします。☆

- ① 学校の行事や学習内容の話など、興味深く聞いてあげてください。
- ② ノートや作品などを見て、良いところを認め励ましてあげてください。
- ③ お子様の音読を聞いたり、時には読み聞かせをしたり、色々な本に触れる機会を作ってください。

児童の皆さんへ

- ☆ 朝ごはんは毎日食べて、一日のエネルギーをとりましょう。
- ☆ 起床時刻や就寝時刻が定まっていない場合は、一日の過ごし方を話し合って決めましょう。
- ☆ スマートフォンやゲームを使用する場合は、家族でルールや時間を話し合って決めましょう。

☆ 地域の皆様にも、引き続きご協力をお願いいたします。☆

地域の皆様には、いつも大変お世話になっております。登下校の見守りの際、「おはようございます」「行ってらっしゃい」「おかえりなさい」と子どもたちに声掛けいただき、ありがとうございます。また、地域行事に参加した際にも、励ましの言葉を掛けていただいていることで、子どもたちは気持ちをコントロールする力が高まり、落ち着いて行動できるようになってきています。引き続きご協力をお願いいたします。